



昨年末発表の「好きな男性アナウンサーランキング」にて、並み居るアナウンサーの中、第2位に輝いたTBSアナウンサー・赤荻歩さん。出身地である横浜への想いやお仕事の醍醐味を語る赤荻さんは、想像以上に際立つ姿勢の良さと、さすがの滑舌の良さ、そして爽やかな笑顔が印象的だった。

商店街大好き、横浜大好き

生まれも育ちも横浜です。実家は西区の藤棚商店街にある化粧品店。商店街には肉屋さん、魚屋さん、八百屋さん……と店が連なり活気があって。みんなが顔見知りで、まるで親戚のように育てていただきました。肉屋さんの店先で元気よく「いらっしゃいませー！」と声を出すと、ウインナーを1本もらえたり(笑)。所属していた少年野球のチームが神奈川県で優勝し、金メダルを首から下げ優勝旗を掲げて商店街を優勝パレードのように歩いたこともあり。中学校は南区の弘明寺に通い、こちらにも通学路に商店街があって。商店街が大好きなんです。

幼いころ野毛山動物園にもよく行きました。近くにある野毛山公園の展望台から横浜の街並みを見渡すのも好きでした。横浜は自然豊かでもあり、みなとみらいのような近未来的な側面もあり、全てがギュッと詰まった街。そんなところも好きです。「何県出身？」と聞かれるとももちろん「横浜出身です」と答えています。

実況は「生もの」

小学校の放送委員で楽しかったことがアナウンサーを目指した原体験です。大学生の時、キャスターをされていた実家の店のお客さまとお話するうち、アナウンサーという夢がよみがえり、アナウンススクールに通い始めました。ある時、横浜赤レンガ倉庫でのイベントで司会をすることに。そこでアナウンサーの高島彩さんとご一緒しました。高島さんは台本も持たずにバシバシその場を進行していて、「プロのアナウンサーってすごいな」と間近で体感し、感動したのが本気でこの仕事を目指したきっかけです。

TBSに入社してスポーツ担当に。大洋時代からのベ이스ターズファンだったので、横浜スタジアムのグラウンドに下り立った時は感動

で震え、番長・三浦大輔さんへのインタビューは興奮しました。今年で入社22年になります。まだまだ大変なことだらけです。でも、だからこそ面白い。スポーツの実況一つにしても、放送でお送りしている部分はほんの5%、取材や準備が95%でしょうか。例えば野球の実況なら両チームの選手全員の名前はもちろん成績データを学んでおかなければならないし、ほかのチームの選手や過去の試合など12チーム全体のことを把握しておかなければなりません。それでも調べたことの2、3%出れば良いほうで、あとは「生もの」。何が起るか分かりません。だからこそ驚きがあり感動があります。私が特別というわけではなく、またどんな業種の方もそうだと思いますが、日々訓練し準備して臨んで、そのたびに「次はこうしてみよう」と考えて。それがアナウンサーという生き物なんです。

状況を的確に伝える

朝番組『ラヴィット!』で、ゲーム対決の実況を担当しています。毎朝、展開を予想して臨んでも、芸人の皆さんは私の想像をはるかに超えることをされる。野球に例えるなら打った一塁ではなく三塁に走り出すとかほふく前進するとか、もしくは走らないとか(笑)。番組内では出演者が毎日違うゲームをします。そのゲームのルールを私がしっかり把握していないと、ハプニングが起きた時に視聴者の方でもスタジオも「はてな？」となり、收拾がつかなくなる。それは生放送では絶対にあってはならないことです。その場の状況を的確にお伝えすることを肝に銘じて臨んでいます。

アナウンサーとしての喜び

ニュース番組では「アンカー」と呼ばれるように、アナウンサーはスタッフとともに汗を流して一からつくってきたものを最後にお届けする役割を担っています。スタッフを代表し



TBSアナウンサー
赤荻 歩さん
Akaogi Ayumi

1981年横浜生まれ、横浜育ち。2004年、アナウンサーとしてTBSに入社。入社当時は主にスポーツを担当。07年より『はなまるマーケット』の4代目進行役に。そのほか12年から2年間、19年から4年間『Nスタ』日曜版のキャスターを務めるなど報道番組にも携わる。現在『ラヴィット!』でゲーム対決や挑戦企画の実況を担当するほか、地上波『JNNニュース』(月、火)、『落語研究会』(第3日曜日)、ラジオ『安住紳一郎の日曜天国』などに出演中。「好きな男性アナウンサーランキング」24年6位、25年2位にランクイン。

ているという意識は常にあります。

また、ラジオで「日本レコード大賞」の実況を担当しましたが、テレビと違い耳だけで聴くラジオは、聴いている方々に絵が浮かぶような描写を心がけています。ただ、テレビもラジオも共通して根底にあるのは、視聴者の皆さんにしっかりと状況をお届けすること。自己満足にならないように、「これは本当に視聴者の方のためになっているのか」、いつもそこに立ち戻って考えます。「わかりやすかったよ」「はっきり伝わっているよ」という声を聞けることが一番の喜びです。

これまでも、これからも

「好きな男性アナウンサーランキング」に初ランクインした2024年は、初めてのことで喜びが爆発しましたが、今回は「ランクインし

ていないかも」という不安の中での2位でしたので、びっくりすぎてなかなか実感がなく。何より仲間である南波雅俊アナウンサーが1位になったことがうれしかったです。番組スタッフの頑張りあっての私なので、視聴者の方々が面白いと感じて評価をしてくださったことに感謝の気持ちでいっぱいです。

この仕事は取り扱うジャンルも幅広く毎日が新鮮で、得難い経験の連続です。私たちがお伝えすることが視聴者の方々の暮らしの小さな潤いになってくれたらと願います。忘れてはいけないのは「丁寧な、謙虚に」。子どものころから私のやりたいことに対していつも背中を押してくれた両親の教えです。

TBSテレビ『ラヴィット!-LOVE it!-』
月曜日～金曜日 あさ8時～9時55分放送

参加
無料

各回定員
30名

湘南鎌倉人工関節センターの公開医学講座

患者負担の軽減を目指した

人工股関節手術

当センターは、人工股関節手術に特化した専門施設です。2004年の開院以来、21年間で約13,500件の手術を行ってきました。股関節に痛みのある方・人工股関節手術を検討されている方を対象に、公開医学講座を実施します。当院受診歴のある方は再診察にてご予約ください。



金沢区 **1/29 日**
14:00～15:30
講師 医長 平野 雅幹
会場 金沢公会堂1号会議室
(金沢文庫駅より徒歩約11分)
申込期間 1/5(月)～1/28(水)



戸塚区 **2/12 日**
14:00～16:00
講師 副院長 三原 政彦
会場 戸塚公会堂2号会議室
(戸塚駅西口より徒歩約7分)
申込期間 1/5(月)～2/11(水・祝)

※都合により講師が変更となる場合があります



1/5より
先着申込
開始

申込方法
Webまたは
電話にて



湘南鎌倉人工関節センター講座
☎0467(47)2377
(平日9:00～17:00)

こんなお悩みありませんか？

- ✓ 歩き出しに
足の付け根が痛む
- ✓ 足の爪切りができない
- ✓ 変形性股関節症で
悩んでいる

痛みをがまんしても
よいことはありません。
まずは専門家へご相談ください。



医学講座
ダイジェスト版
YouTubeにて
公開中！



湘南鎌倉人工関節センター

代表 0467(47)2377

神奈川県鎌倉市5-4-17
駐車場あり/JR大船駅東口より無料送迎あり
※(火)の日の外來のみ運行

